

PRESS LIT

Press Life Information & Technology プレスリッツ vol.103

2026 WINTER

創刊
100
号
突破

EXPO2025 大阪・関西万博へ行こう! ①



新年のご挨拶 ③

豊橋飼料株式会社 代表取締役社長
平野 正規

丸トポトリー食品株式会社 代表取締役社長
長田 一男

丸ト鶏卵販売株式会社 代表取締役社長
棚橋 勉

株式会社エムイーシーフーズ 代表取締役社長
福原 康人

特集 飼料でストレス感受性を抑えられるか? 後編 ⑦

歩み続けて100号 — つなぐ想い、未来へ — ⑨

確定申告

確定申告は、1月1日から12月31日までの1年間の所得税の額を自分で計算し、税務署に申告して納税する手続きのことです。

会社勤めの方の多くは、会社が代わりに税金の計算と納税を行う年末調整で手続きが行われるため、基本的には個人で確定申告をする必要はありません。

しかし、一定の要件に該当する場合や、年末調整では適用されない控除を受けたい場合などには個人で確定申告をすることが必要となります。

以下に「**確定申告が必要な人**」と「**確定申告をした方がよい人**」の代表例を紹介いたします。

確定申告が必要な人

- 給与収入が2,000万円を超える人
- 副業の所得が20万円を超える人
- 公的年金を一定額以上受給している人
- 給与取得者で年末調整を受けていない人

確定申告をした方がよい人 (申告の義務はない)

- 医療費が10万円を超えた人
- 住宅ローンを組んだ人(1年目※1)
- ふるさと納税※2をした人

※1: 2年目以降は年末調整で控除されます。
※2: ワンストップ特例制度を利用しない場合

最後に

確定申告をする必要があるのに行わなかったり、確定申告の期間を過ぎてしまうと、ペナルティが科せられる可能性があるため、対象となる方は期限※3内に申告を完了させましょう。

※3: 2026年の確定申告期間は2月16日(月)から3月16日(月)までです。

豆知識

「年末調整」と「確定申告」の違いを一言で言うと…

- 年末調整** 会社が代わりに給与所得者の所得税額の申告と納税を行う
- 確定申告** 自分で所得税額の申告と納税を行う



創刊100号突破を記念し読者の皆様にはこれまで愛読していただいた感謝を込め、豊橋飼料アイドルシェフ商品の抽選プレゼントキャンペーンを行います。応募方法は本誌記事(P.9)にて掲載しておりますので是非ご覧ください。

秀麗豚ロース味噌漬 4枚

定番商品がリニューアル! 肉に甘味を感じるロース肉を使用し、西京白みそをベースとした味噌に漬込みました。西京白みそのやさしい甘みとまろやかなコクが、豚肉の旨みを一層引き立て、焼き上げると芳醇な香りが広がります。



抽選で
プレゼント

編集後記

駆け込み万博と取り上げられるほど、閉幕に近づくにつれて来場者数は増え、チケットやパビリオンの予約も困難になりました。開幕当初はパビリオンの事前抽選も当たりやすく、先着予約も取りやすかったです。しかし閉幕間際には、予約を取るために眠い目をこすりながら夜中までスマホとにらめっこするも一瞬で予約の枠が埋まり、悔しさとともに万博の熱気を実感しました。始まりと終わり、両方を味わえた貴重な体験でした。

編集委員一同(川村和也、大串淳、大脇友裕、小笠原千夏、永田真菜、笹木遥香、谷口莉里香、長坂訓史)

EXPO
2025

大阪・関西万博

へ行こう！

2025年4月13日から夢洲で開催された大阪・関西万博が10月13日に閉幕され、惜しむ間もなくパビリオンの解体工事が進められています。プレスリッツでも春号から万博について取り上げてきましたが、今号で最後となります。今号では6ヶ月間の来場者推移やまだまだ万博が味わえるスポット、お伝え出来なかったパビリオンについてご紹介いたします。

パビリオンの移設



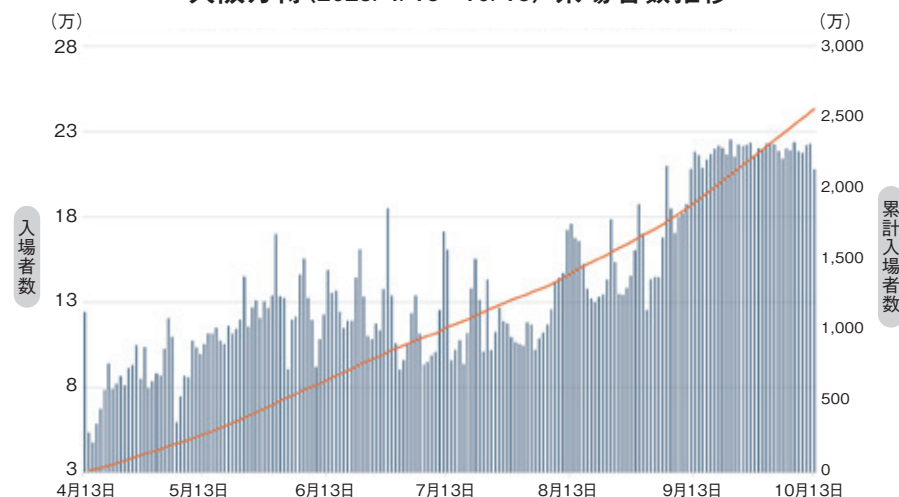
オランダ館・パソナグループ「PASONA NATUREVERSE」が淡路島へ移設される予定です。

天空のアトラスが美術館に！

大人気で長蛇の列をなしたイタリア館の「天空のアトラス」等の展示品が大阪市立美術館で2026年1月12日まで展示されます。



大阪万博(2025/4/13~10/13) 来場者数推移



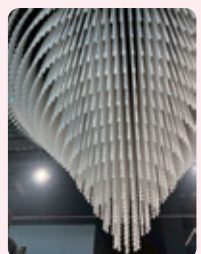
来場者数推移

開幕してから5月中旬までの来場者数は1日10万人を下回ることが多かったですが、9月中旬には1日当たり20万人を超えてきました。チケット販売枚数は約2,200万枚で目標の2,300万枚にはやや届かずの結果でしたが大盛況で終わりました。会期中に完成したパビリオンや、定期的に変わる展示物、1日では回りきれない数のパビリオンが展覧していたことからリピートされた方もいらっしゃったのではないのでしょうか？

紹介しきれなかったパビリオン

EATH MART パビリオン

食をテーマにしたパビリオンで、世界各国の家庭が一週間に購入する食糧を記したレシートや、日本人1人あたり10年間に消費する食材が入る「いのちのカート」などが展示されていました。中でも印象的だったのは、天井に28,000個の卵を並べられた「巨大な卵のシャンデリア」とその真下に位置する、目玉焼きのオブジェです。日本人が一生涯に食べる卵を個数と体積ベースで表現している大変興味深い展示物でした。目玉焼きのオブジェはリユースサイト(<https://www.reuse-materials.jp/furniture/list/>)で確認するとベンチであったことが分かりました。今更ながら座われることに驚きました。退館前には、会場内で漬けた梅干し「万博漬け」の引換券を受け取りました。「万博漬け」を受け取ることができる2050年には、わたしたちの食生活はどのように変化しているのでしょうか。



▲巨大な卵のシャンデリア



▼万博漬け



▼目玉焼きのオブジェ

ドイツパビリオン

循環経済(サーキュラーエコノミー)をテーマにしたパビリオンです。持続可能な未来に向けた意識を高めることを目的としており、循環経済を意識した人々の暮らし方やドイツが行っている取り組みについて案内役の「サーキュラー」から説明を受けながら展示品を見て歩きます。講義のような真面目な内容だけではなく、エネルギーの仕組みをミニゲームで学べたり、サーキュラーが歌い出すギミックがあったりと楽しめる要素が多いため、子供たちにも人気のパビリオンでした。サーキュラーはドイツ館の公式キャラクターであり、万博のキャラクター人気投票の『EXPOアテンダント×キャラクター ワールドフェスティバル』で1位となりました(ミyakミyak等一部キャラクター除く)。大阪市立科学館へ2体のサーキュラーが寄贈され、閉幕後も会いに行くことができます。



閉幕後も楽しめるスポット

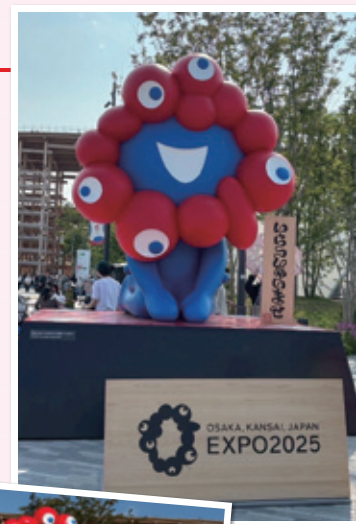


大屋根リングの一部を保存へ

閉幕後、敷地返却に向けて解体工事が進む大阪・関西万博会場ですが、象徴的な「大屋根リング」の一部は残されることになりました。世界ギネス記録にも認定されていた建造物だけに、今後も記念としてその姿が残るのは嬉しい限りです。

ミyakミyak像は大阪めぐり

東ゲートと西ゲートの入り口でお出迎えをしてくれた巨大なミyakミyak像「いらっしやい」「ワクワク」の2体が大阪府に引き取られ、大阪市役所前へ設置後、吹田市の万博記念公園や大阪府内の観光名所を巡回する予定です。ぜひ大阪観光の途中でミyakミyakに会いに立ち寄ってみてください。



英国館のスコーン

英国館のスコーンは、Rodda's 阪急うめだ本店で味わえます。Rodda'sは東京にも3店舗あり、全国で計4店舗展開しています。イギリスでは、バターと生クリームの中のような濃厚なクロテッドクリームと一緒に楽しむのが一般的で、ここでも本場の味を楽しむことができます。



おわりに

開幕から様々なことがあった大阪・関西万博ですが、無事に閉幕しました。会期中に行けなかった方も閉幕後ならではの楽しめる要素が盛り沢山です！関西に行かれた際は立ち寄ってみてください。

2026年頭所感



豊橋飼料株式会社

代表取締役社長

平野 正規

あけましておめでとうございます。旧年中はお客様をはじめ、多くの皆様にご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年を振り返りますと、世界ではトランプ政権による相互関税問題やイラン・イスラエル間の戦争、ロシアのウクライナ侵攻など不安定な情勢が続きました。国内では大阪・関西万博が開催されたほか、米価高騰を受けて備蓄米の放出が実施されました。秋の自民党総裁選では新総裁の誕生により財政出動への期待が高まり、為替市場では円安が一段と進みました。気候面では猛暑や線状降水帯による豪雨が相次ぎ、異常気象が常態化した一年でもありました。

飼料・畜産業界に目を向けますと、シカゴのトウモロコシ相場は期近限月で4ドル台と下げ止まり感があり、為替の円安も定着しています。中国は依然として米国産穀物の購入を停止していますが、交渉再開の動きも見られます。国内では運賃や燃料費などの上昇は止まりませんが、それに比べると卵・豚肉・鶏肉の相場上昇は限定的です。国主導の「畜産物価格醸成会議」は牛乳に限られ、畜産物全体への波及は見られません。私たち業界としては、自らのコストを適切に価格へ反映できる仕組みを整え、「損をしながら続ける構造」から脱却することが喫緊の課題です。

また、飼料基金の運用にも不安が残ります。商系は追加積立の余力が

乏しく、全農が動いたとしても、結果的に畜産農家の負担（借金）につながるだけです。基金制度は早急に見直されるべきですが、現状は停滞しています。

鳥インフルエンザや豚熱など家畜疾病の発生も続いており、農場の大型化が進む中で感染リスクは高まっています。埃を立てない殺処分方法の導入や、対策への十分な補助など、国の支援体制の強化が求められます。さらに、猛暑や大雨など気象リスクへの備えも、畜産団体が国や自治体と連携して進めていくことが重要です。

さらに、昨年より飼料米の不足が深刻化しています。地域産米を活用した畜産物づくりを続ける農家にとって、「飼料米がない」という状況は容認されません。長年の協力関係を維持するためにも、安定供給の仕組みづくりが急務です。加えて、国内畜産の基盤であるトウモロコシの備蓄を民間に頼る現状は脆弱であり、国家備蓄の復活こそが食料安全保障の要であると考えます。

こうした課題は中長期的な業界全体のテーマでもあります。私たちはこれらの現実に向かって向き合い、一つひとつの課題に誠実に取り組みながら、「国内畜産の未来をひらき、食卓に信頼をお届けする」企業であり続けたいと考えています。本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社員教育を通じ、

仲間との意識共有



丸トポトリー食品株式会社

代表取締役社長

長田 一男

あけましておめでとうございます。旧年中はお客様をはじめ、多くの皆様にお世話になり、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、畜産業界を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続きました。エネルギー価格や原料価格、輸送コストの上昇に加え、円安による物価高騰、防疫対策費の増加、さらに夏場の異常気象への対応などにより、生産コストは大幅に上昇し、経営を著しく圧迫した一年でした。

また、昨シーズンは岩手・千葉・愛知において高病原性鳥インフルエンザが集中発生し、発生時期も年々早まる傾向が見られます。弊社農場では、従業員に対し「周囲は外敵（ウイルス）だけである」との認識を常に持たせ、消毒や衛生管理を徹底し、外部からウイルスを持ち込まない取り組みを継続しています。

こうした厳しい経営環境の中にあっても、私たちは前向きな改善を進めております。中部支店生産工場での実績をもとに、昨年11月には関東支店生産工場へモモ肉自動脱骨機『トリダス』を導入しました。包装ラインとの一体化により、品質や歩留まりの向上、残業の削減に取り組みました。今後も機械化できる工程は積極的に自動化を推進し、人手不足の解消と生産性の向上を図ってまいります。

さらに、2027年度には技能実習制度が廃止され、新たに「育成就労制度」が始まります。これは開発途上地域の経済発展を支える「人づくり」を目的とし、特定技能への移行を前提とする制度です。弊社としてもこの取り組みに参画し、海外からの人材が安心して学べる職場となるよう努めてまいります。特に、「あいさつはコミュニケーションの基本」と位置づけ、社員教育を通じて共に働く仲間との意識共有を深め、安全で安心して食べていただける美味しい鶏肉製品づくりへのこだわりを従業員一丸となって全員で実践していきます。

2026年の干支は「午（うま）」です。馬は常に前進し、後ろを振り返らずに前へ進むその姿が、夢や目標に向かって突き進む人の象徴とされています。本年が勢いとエネルギーに満ちた、明るく活動的な一年となることを願っております。皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶いたします。



食卓に卵を取り入れ、 ”健康寿命”の延伸を



丸ト鶏卵販売株式会社

代表取締役社長 棚橋 勉

新年おめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

2023年には、過去最大規模の高病原性鳥インフルエンザが発生し、採卵鶏約1,650万羽が殺処分となりました。その影響で鶏卵が大幅に不足し、多くのお取引先様に数量調整をお願いするなど、ご協力を賜りました。特に加工用原料卵の供給が滞ったことで、外食企業や食品メーカーでは卵を使ったメニューの中止やレシピ変更が相次ぎ、卵の使用量が大きく減少しました。翌2024年には、生産が回復する一方で加工卵の需要が戻らず、供給過多となった結果、年間の平均鶏卵相場は採算ラインを大きく下回る厳しい年となりました。さらに2025年は、関東・中部地域で鳥インフルエンザが猛威を振るい、全国で約932万羽が殺処分となりました。2023年同様に大きな卵不足に陥り、お客様には再び数量調整をお願いするなど、多大なるご迷惑をおかけいたしました。加えて、記録的な猛暑により卵重や産卵率の低下も顕著で、生産・販売の両現場にとって試練の一年でした。国の体力・運動能力調査によりすると、65歳〜79歳の体力テストの合計点はコロナ禍の時期に一時落ち着いたものの、その後も右肩上がり

推移しているそうです。特に「6分間歩行距離」では、2024年度の75〜79歳男性が583m、女性が550mと、25年前より50〜70mも伸びており、当時の65〜69歳とほぼ同等とのこと。日本老年学会も昨年、「高齢者の定義を75歳以上とすべき」との提言を行いました。こうした「健康寿命」の延伸に欠かせないのが、栄養価に優れた卵です。卵は丈夫な身体づくりに役立つ理想的な食材であり、コレステロールを気にせず安心してお召し上がりいただけます。実際、厚生労働省の「日本人の食事摂取基準」では、2015年版からコレステロール摂取基準が撤廃されています。かつて草食動物であるうさぎにコレステロールを与えた実験結果が誤解を生んだ経緯もありますが、ヒトが卵を食べても血中コレステロール値は大きく上昇しないことが科学的に示されています。ぜひ積極的に卵を食卓に取り入れていただきたいと思っています。

本年は新しい政権のもとで、為替の動向など先行きの不透明さもありますが、鳥インフルエンザの発生がこれ以上広がることなく、穏やかで安定した一年となることを心より願っております。皆様のご健康とご繁栄をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

丙午

ひのえうま

〜果敢に挑戦、成長を続ける一年〜



株式会社エムイーシーフーズ

代表取締役社長 福原 康人

あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、日本経済は緩やかな回復を維持しながらも、米国の通商政策や物価上昇の影響を受け、成長の勢いは鈍化傾向にありました。実質GDPの伸びは限定的で、景気は回復基調を保ちつつも一部に弱さが見られ、企業収益や輸出は横ばい圏内で推移しました。食料品やエネルギー価格の上昇は家計を圧迫し、実質賃金の減少も続きましたが、内需や政策対応により一定の安定が保たれた一年でした。

畜産業界においても、昨年は西日本での鶏卵不足が深刻化し、1月の平均卵価(全農東京M加重)は前年を大きく上回る78円/kg高のスタートとなりました。加えて、高病原性鳥インフルエンザの発生により、全国で約932万羽が防疫措置の対象となり、高卵価が続く状況となりました。弊社関東GPセンターでも影響を受け、原卵入荷の約3分の1が途絶えるなど、極めて厳しいスタートとなりましたが、秋以降は順調に回復し、安定した生産体制を取り戻しております。

2026年は、農場部門ではさらなる防疫体制の強化を進め、生産性の向上とコスト削減に努めてまいります。関東GPセンターでは導入済みの

機械設備を最大限に活用し、作業効率を高めます。販売部門では昨年開発した新商品の拡販を推進し、事務部門では新システムの活用による省力化と業務改善を図ります。これらの取り組みを通じて、より安全で高品質な製品をお届けできるよう、社員一丸となって努力してまいります。

本年の干支は十干十二支では「丙午(ひのえ・うま)」です。丙は「火」の性質を持ち、太陽や明るさ、生命のエネルギーを象徴するといわれます。午は俊敏で独立心が強い動物として知られ、その組み合わせは「勢いとエネルギーに満ち、活動的な年」を示すものとされています。私どももこの勢いを胸に、果敢に挑戦し、成長を続ける一年としたいと思います。

本年が皆様にとりまして、健康で実り多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



飼料で ストレス感受性を 抑えられるか？ 後編



茨城大学学術研究院応用生物学野 教授
(東京農工大学大学院連合農学研究科 教授 兼任)

豊田 淳

はじめに

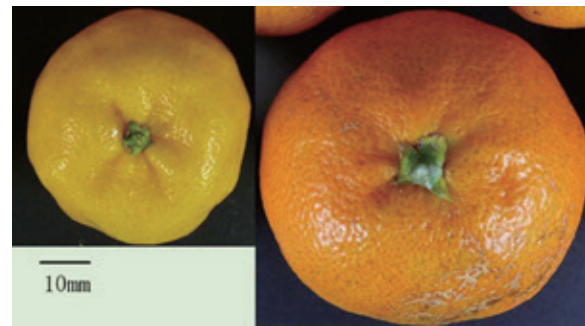
前編では、私たちが開発した亜慢性社会的敗北ストレスモデルマウスと、このモデルマウスのストレス感受性が給与した飼料に影響されることを紹介した。スクロースやセルロースなどの精製原料で作製される半精製飼料（AIN-93G）を給与されたマウスは、天然飼料原料で作製される非精製飼料を給与されたマウスよりも、心理社会的ストレスに対して脆弱であった（Goto et al. Nutri. Neurosci. 2016）。すなわち非精製飼料に配合されている飼料原料にストレス感受性を抑えて、マウスをレジリエントにする効果があると推察される。後編では、このモデルマウスを用いた、ストレス感受性を抑制する素材研究を紹介し、飼料資源の探索の可能性について議論したい。

心理社会的ストレスに対する 感受性を抑える素材はあるか？

飼料がストレス感受性に影響することを見つけた後、この敗北モデルマウスを用いて、多様な素材をスクリーニングしてきた。その結果分かったのが、ストレス感受性を抑えることのできる素材はなかなか見つからないと

いうことであつた。当初、茨城県産の様々な農産物をターゲットにスクリーニングしていたが、「アタリ」が出ない。学会などで我々の試みを知った食品関連企業から共同研究を依頼され、この敗北モデルを用いて乳酸菌などの微生物資材の評価も行ったが、なかなか「アタリ」が出なかった。「ハズレ」ばかりで、私とポスドク、学生のストレス感受性が試されているような日々を送っていたが、この稿ではようやく見つかった「アタリ」を取り上げたい。その「アタリ」は意外にも職場から車で40分ほどの場所にあつた。フクレ（福来）ミカンというなんとも縁起の良さそうな名前のついた筑波山周辺の特産カンキツ写真であり、その果皮の香りはとても良く、七味や地ビール、菓子などに利用されている。特に地ビールは筆者のお気に入りである。フクレミカンの果皮に含まれるフラボノイド（ヘスペリジン、ノビレチン、タンゲレチンなど）が、ウンシュウミカンなどのカンキツに比べると豊富に含まれており、機能性食材としても有望ではあるのだが、なにしろフクレミカンの栽培面積や収穫量が少ないため、沖縄のシークワーサーや徳島のスタチなどというメジャープレーヤーにはなれないため、茨城南部のレアキャラとして付加価値を上げるしかないのかもしれない。特にフクレミカンの未熟果の果皮にフラボノイドが豊富に含まれているため（坂井ら、茨城県工業技術センター研究報告第40号、2012）、我々は

写真 フクレミカン（左）とウンシュウミカン（宮川早生）（右）



未熟果果皮の乾燥粉末を半精製飼料に添加して、マウスに給与したところ、このマウスは対照食である半精製飼料のみを給与されたマウスよりもストレス感受性が抑制される傾向があつた（Sato M. et al. Biosci Biotechnol Biochem. 2019）図1。そこで、その有効成分を突き止めようと考え、まずは未熟果の果皮に最も多く含まれているヘスペリジンに着目した。ヘスペリジンを添加した半精製飼料を給与されたマウスはストレス感受性が抑えられ、レジリエントになり、そのマウスの脳では、社会的敗北ストレスによる炎症関連物質（キヌレニン）の濃度上昇が抑えられていた図2。ヘスペリジンは様々なカンキツ

の果皮に含まれているフラボノイドであり、抗炎症作用や抗酸化作用が知られている（Tajada et al. Curr Med Chem. 2018）。愛媛県では「ミカンジュース粕が和牛用飼料として利用されており、その飼料を給与されたウシは「あかね和牛」として市場に出て、「脂肪を抑えた健康的な肉質」がアピールされている（https://akane-wagyu.jp/）。カンキツ果皮を用いた家畜飼料は、肉質の向上とストレス感受性の抑制を両立できる可能性もあり、より魅力的な飼料資源として着目されるべきかもしれない。今後、家畜を用いたストレス感受性の抑制を目指した実証研究を是非とも実施してみたいと考えている。

今後の展望

昨今、社会的敗北ストレスモデルマウスを用いたストレス感受性を抑える素材・成分の探索研究は盛んに行われており、まさに「レッドオーシャン」化している（Toyoda, Anim. Sci. J. 2020）。しかし、多くの研究は食品開発を念頭に行われており、ストレス感受性を抑える食品開発はビジネスとしても魅力的であろう。一方で今後は、家畜、愛がん動物、動物園動物など、動物のストレスマネジメント、ウェルビーイングを見据えた飼料の開発もますます重要になってくるはずであり、これらのマウスモデルを用いた基礎研究が飼料開発に貢献できる日があると我々は考えている。

図1 レジリエントマウスの割合

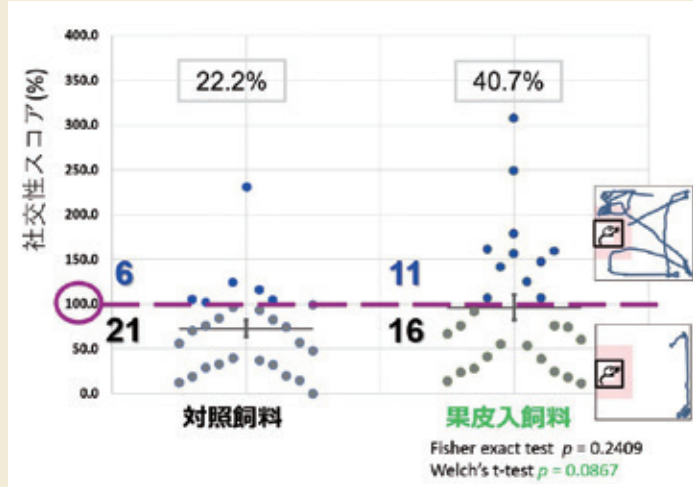
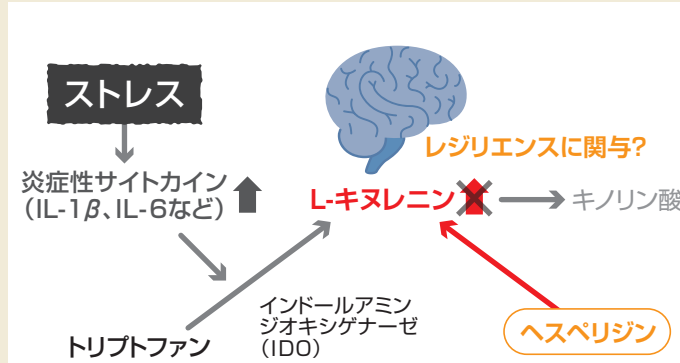


図2 ヘスペリジンはストレスによる
脳内キヌレニンレベルの上昇を抑制する





歩み続けて100号 — つなぐ想い、未来へ —

vol.100の発刊を記念した編集委員による過去掲載記事の振り返りを今号も引き続き行ってきたいと思います。

今号の振り返りはvol.76～100までについてです。

また本記事の最後には読者プレゼントもありますので、皆様の奮ってのご応募をお待ちしております。

今回振り返るのは…



vol.76 vol.100

この期間の風物詩は東京オリンピックの開催に合わせ、世界に目を向けた世界文化遺産や国内で海外旅行を味わえるスポットの紹介から始まりました。しかし、コロナ禍以降は遠出が難しくなったこともあり、各事業所近くのお城や公園の紹介となり、身近にある歴史に目を向けた掲載へと変わりました。その後、少しずつ取材範囲が広くなり、徐々に日常を取り戻していることが伺えます。掲載記事からその時の情勢を振り返るのも面白いですね。

編集委員が
選ぶ
おすすめ記事

旬レシピ vol.77～83

vol.77～83にかけては、裏表紙で季節ごとの料理レシピを紹介してきました。旬の食材を使った工夫や、家庭の食卓に笑顔が広がるようなアイデアが詰まっています。どのレシピにも「読者の暮らしを豊かに」という思いが込められております。料理は味わうだけでなく、作る過程にも楽しさがあります。家族と一緒に料理すれば会話が弾み、季節の移ろいを感じるひとときにもなります。また、忙しい毎日の中で「今日の献立、どうしよう」と迷うときにも、このコーナーがちょっとしたヒントになっていたかもしれません。これからも皆さまの日常に寄り添い、ささやかな発見や楽しみをお届けできるよう、工夫を重ねてまいります。



日本国内で世界一周シリーズ vol.81・83

2020年度の巻頭特集では、「日本国内で世界一周」というテーマを掲げました。日本各地には世界の文化や風景を感じられる場所が多くあります。国内を巡りながら各国の雰囲気味わう——そんな視点で、読者に新しい発見を届けたいと考えた企画でした。構成や取材先の選定にも力が入り、誌面としても意欲的な試みでした。しかし、この号を発行した直前に社会はコロナ禍へと移り、自由な移動や取材活動が制限されました。今振り返ると実現できたのはわずか2回で、幻となった続編が心残りとなっています。いつか再び、この企画をより成熟した形で取り上げたいという思いは、今も編集部に息づいています。



BCP vol.84

BCP(事業継続計画)を作成する上で想定されるリスクや当社のBCP対策が紹介されています。記事を振り返ると、当時の新型コロナウイルス感染拡大を受け、感染症対策もリスクとして対策が必要であることについても言及されていました。昨今ニュースとなった大手企業へのサイバー攻撃によるシステム障害もリスクとして捉え対策を進めています。



SDGs 持続可能な開発目標 ～飼料会社としての取り組み～

vol.82

2015年に国連で採択されたSDGsに対する当社の取り組みを紹介しました。当社は2020年9月に豊橋市のSDGs推進パートナーとして登録されました。飼料業界はSDGsが採択される以前より食品副産物を利用しており、これらの目標達成に貢献していることが多いと感じています。今後も、日々の業務を通じてSDGsの意識を持ち、努力していきたいと考えています。



創業90周年記念特集 各事業所の歴史 vol.84～87

90周年を記念して各事業所の歴史について4回に分けて特集しています。過去の資料を見返したり、当時を知っている方々に聞いたりして年表の作成や取り組みについて紹介しています。同時期に発行した90周年記念誌と合わせてぜひ読んでいただきたい記事となっています。



畜産物の需給バランス vol.88～91

vol.88～91まで1年間に渡り、畜産物ごとの需給バランスについて解説しました。数年間にわたる相場動向や各種統計データを引用することで、内容に説得力を持たせています。畜産物価格の構成要素が解説されており今後の相場予測をする上で有益な参考資料となります。



インボイス制度 vol.94

2023年10月1日から導入されたインボイス制度について紹介しています。請求書や領収書等の記載事項に変更が加わり、発行する側も受領する側も対応準備に追われたことを思い出す方も多いのではないのでしょうか。2年が経過しましたが事務処理の負担と複雑化が経理業務に大きな影響を与えています。今後は経過措置の終了が控えていますので制度の再確認にぜひご覧いただければと思います。



プレスリッツ100号に寄せて

豊橋飼料(株) 総合企画部 長坂 訓史

創刊100号、誠にありがとうございます。この記念すべき節目を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。100という数字には、これまで関わってこられた多くの人々の熱意が詰まっています。私自身、この100号のうち2017年から約3年間という短い期間ではありますが、編集に携わり試行錯誤したことは今でも貴重な経験となっています。

そして今回縁あって101号から再び編集に携わることとなりました。これまで諸先輩方が築いてきた素晴らしい歴史を未来へとつないでいくことと、WEBサイトやSNS、動画コンテンツ等では得られない、「手元に置いておきたい」と感じてもらえるような誌面作りに励んでまいります。

飼料製造・環境事業・畜産事業・食品販売事業までを一貫して手掛ける総合畜産食品企業として、変化の激しい時代だからこそ、その時求められているものについて質の高い情報を提供し、畜産業界全体の発展に貢献していくこと、それが私たちの使命だと感じています。

創刊100号突破記念 読者プレゼント

期間中、アイドルシェフ通販サイト(<https://idol-chef.com/>)にて

- 会員登録された方(すでに会員の方も応募OK!)
- 同サイトのお問い合わせフォームから

- ①「プレゼント応募」の旨
- ② 読みたい記事や食べてみたい商品など(任意回答)

通販サイトの
会員登録はコチラ



をお答え頂いた方の中から抽選で5名様に商品をプレゼント

応募期間

2026年1月1日(木)
～2月28日(土)

応募される時のご注意

ご応募は日本国内にお住まいの方のみに限らせていただきます。いただいたご意見・ご要望への返信はいたしかねます。当選者の発表は、厳選な抽選の上、賞品の発送をもってかえさせていただきます。